

令和元年度室蘭開発建設部総合評価審査委員会（第2回） 審議概要

開催日時 及び場所	令和 2年 2月12日（水） 13:30～15:40 室蘭開発建設部1階大会議室	
委 員	かわむら し ま 川村 志麻（委員、室蘭工業大学 教授） きむら かつとし 木村 克俊（委員長、室蘭工業大学 教授） したむら みつひろ 下夕村 光弘（委員、苫小牧工業高等専門学校 教授） わたなべ あきお 渡辺 暁央（委員、苫小牧工業高等専門学校 准教授） (敬略、五十音順)	
議 事 次 第	1 開会 2 部長あいさつ 3 議 事 (1) 総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果及び予定について (2) 個別審議 (3) その他 4 閉会	
意 見 ・ 質 問		回 答
(1) 総合評価落札方式、プロポーザル方式 の実施結果及び予定について (2) 個別審議 <工事事後審査> ① 沙流川改修工事の内紫雲古津上流河道掘削 外工事（一括審査方式） ・協議が必要になることを理由に提案を非評価 としたものがあがるが、根拠は。 ・新技術導入促進（I）型の提案について各者 の記載量が様々であるが、評価への影響は。 ② 苫小牧港東港区ー4m物揚場A部災害復旧 地盤改良工事（一括審査方式） ・安全に資する同一の提案が複数者からあつた が、優劣に評価が分かれた理由は。		・報告に対し、了解された。 ・提案様式の注意書きに「他機関と協議が必要と なる提案は評価しない」と明記されており、特記 仕様書の記載事項や現地状況とも照らし合わせ て、該当する場合がある。 ・記載量によらず、必要な事項が不足なく記載さ れていれば評価する。 ・同一技術を用いる提案であるが、具体の運用方 法が異なっており、評価に差がついた。

<p>③ 日高自動車道新冠町節婦川橋上部西工事 (S型、一括審査方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案について全体的に高評価の傾向にあるように見受けられる。総合評価をより有効とするために、提案に差がつくよう評価テーマ及び評価項目を設定することが必要では。 <p><業務事後審査></p> <p>④ 一般国道235号新ひだか町春立橋補修設計外一連業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案の記載量が多いほど有利になるような評価手法となっていないか。 <p>⑤ 早来地区業務継続計画策定等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価テーマ「・・・地震時又は豪雨時における・・・」に対し、片方に着目した提案よりも両方に着目した提案の評価が高い。テーマの設定と評価方法が噛み合っていないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術提案評価で差がつくように、評価テーマの設定等について、今後工夫して参りたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・適切に評価が行われるよう評価項目毎に評価手法を設定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・評価は全体的な内容を踏まえて行っている。しかしながら提案が混在していることで、わかりづらい評価に見える。テーマと評価についての明瞭性に配慮し、よりの確な提案に繋がるよう、テーマの設定に留意したい。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	
<p>なし</p>	

※入札参加者の提案又はその評価に係わる内容については、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。